

令和5年産主食用米の「生産の目標」について

令和4年12月20日
香川県農業再生協議会

1 「生産の目標」設定の考え方

国は、令和5年産の主食用米について、「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」において、需要に見合った生産量を669万トンとし、過去最大規模の作付転換となった4年産と同水準の作付面積との見通しを示しました。

一方、本県の主食用米の作付面積は、毎年400㊦規模で減少しており、引き続き米の産地としての生産量の確保や水田農業の維持を図ることとし、「生産の目標」の設定にあたっては、全国の需給見通しを踏まえ、県産米の需要・販売動向や作付実績などに基づき、令和4年産の作付面積を維持するため、県全体で設定します。

2 主要品種の生産の方向性

品 種 名	流通・販売状況と生産の方向性(JA香川県取扱より)
おいでまい	約78%が県内向けに家庭用精米として流通され、学校給食でも使用されています。 ブランド化に向けた取組みを強化しながら「特A」評価が継続できるよう良食味を維持しつつ、品質の高位安定化に努め、香川県を代表するオリジナル米として、需要動向をみながら作付面積・生産量を増加させていきます。
コシヒカリ	約88%が県内向けに流通し、家庭用精米の定番となっています。 県内を主体に需要はありますが、温暖化による品質の低下が著しいため、麦との二毛作を踏まえた水稻の中生品種や業務用途向けの主食用多収品種へ転換を図ることから、作付面積・生産量を減少させていきます。
ヒノヒカリ	約61%が関西圏など県外向けに流通し、年間を通じて食味が安定しており、主に業務用途での需要が多くなっています。 複数年契約の取組みを進め販路を確保し、需要に応じた生産を進める必要があることから、作付面積・生産量を維持させていきます。
あきさかり	主に県外業務用途向けとして導入しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による中食・外食の需要減退のため、販路の確保が課題となり、約69%が県内向けに流通しました。 複数年契約を含めた、業務用途への販路拡大に向けた取組みを強化し、需要動向を見ながら作付面積・生産量を維持させていきます。

3 地域ごとの主食用米の生産の方向性（JA香川県各地域）

地域	主要品種・作付順 (下線はR4年産作付最多)	生産の方向性	
		作付面積	品種構成比率
大川	<u>コシヒカリ</u> あきさかり ヒノヒカリ	コシヒカリ：維持 あきさかり：維持 ヒノヒカリ：維持	コシヒカリに作付が偏っている（R4年産約72%）ため、主にあきさかりへの品種転換を行い、コシヒカリの構成比率が60%程度になるようにしていく。
中央	<u>ヒノヒカリ</u> <u>コシヒカリ</u> あきさかり	ヒノヒカリ：維持 コシヒカリ：維持 あきさかり：維持 おいでまい：維持	コシヒカリの短期栽培の構成比率を減少し、あきさかり（約14%）、ヒノヒカリ（約47%）への転換を行うとともに、おいでまい（約6%）は維持させる。
小豆	<u>コシヒカリ</u> <u>ヒノヒカリ</u>	コシヒカリ：維持 ヒノヒカリ：維持 あきさかり：維持	コシヒカリ（約59%）、ヒノヒカリ（約11%）、あきさかり（約3%）の構成で面積維持に努める。
綾坂	<u>コシヒカリ</u> <u>ヒノヒカリ</u> おいでまい	コシヒカリ：維持 ヒノヒカリ：維持 おいでまい：維持 あきさかり：維持	主要4品種（コシヒカリ（約31%）、ヒノヒカリ（約23%）、おいでまい（約22%）、あきさかり（約19%））の構成比率は維持していく。
仲多度	<u>おいでまい</u> <u>コシヒカリ</u> ヒノヒカリ	おいでまい：維持 コシヒカリ：維持 ヒノヒカリ：維持 あきさかり：維持	おいでまい（約32%）は現状維持、ヒノヒカリ及び短期栽培のコシヒカリからあきさかり（約15%）への転換を行い、作型分散と作付面積の維持に努める。コシヒカリ（約28%）・あきさかり（約15%）・おいでまい（約32%）を中心として取り組む。
三豊	<u>ヒノヒカリ</u> <u>コシヒカリ</u> オオセト	ヒノヒカリ：維持 コシヒカリ：維持 オオセト：維持 あきさかり：維持	コシヒカリの構成比率を減少し、あきさかり（約4%）への転換を行うとともに、ヒノヒカリ（約47%）及びオオセト（約6%）は維持していく。
豊南	<u>コシヒカリ</u> あきさかり ヒノヒカリ	コシヒカリ：維持 あきさかり：維持 ヒノヒカリ：維持	あきさかり（約36%）、コシヒカリ（約42%）、ヒノヒカリ（約18%）の構成比率は維持していく。

4 令和5年産の主食用米の「生産の目標」

※（）の数値は生産の目標

	生産の目標			【参考】 令和4年産(10月25日現在)		【参考】 令和3年産(実績)	
	面積 (ヘクタール)	生産量換算値 (トン)	向き	面積 (ヘクタール)	生産量換算値 (トン)	面積 (ヘクタール)	生産量換算値 (トン)
香川県	10,800	53,568		(11,300)	(56,600)	(12,600)	(62,496)
				10,800	55,200	11,300	56,600

注1)「生産の目標」の生産量換算値（トン）は、県の年平均収量 496kg/10a により算定

注2)農林水産省統計公表値

<参考>令和5年産の非主食用米の「生産の目標」

	令和5年産(目標値)		令和4年産(10月現在)
	面積(ヘクタール)	向き	面積(ヘクタール)
加工用米	70		47
米粉用米	10		8
飼料用米	200		162
WCS	200		172
新市場開拓用米	50		5
合計	530		394